

大震災

平成23年3月11日14時46分頃、マグニチュード9.0という、世界でもまれな巨大地震が発生。この地震に伴う津波は、太平洋沿岸のまちを飲み込み、行方不明者15,000人以上、死亡者12,000人以上という戦後最大規模の被害を受けました。



陸揚げしていた漁船も、津波で倒された十勝港(広尾町提供) 広尾町に関する記事はP35をご覧ください。

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

尊い生命を失われた多くの皆様に、心からご冥福を申し上げますとともに、いまだ行方がわからない皆様が、一刻も早く発見されますことをお祈り申し上げます。

被災し、避難所生活を強いられている皆様には、1日も早く本格的な支援の手が行き届き、さらに1日も早い復旧と復興を心からお祈り申し上げます。

芽室町長 宮西義憲

この未曾有の大災害に、芽室町で「何ができるのか？」多くの皆様からお声をいただいておりますが、3月17日から義援金活動を開始させていただきました。

人的支援では、3月19日に芽室消防署の救急救命士を、3月25日には公立病院医師を派遣したところであります。

また3月22日には、被災地で救援物資の受入れ態勢が整ったことから、本町が備蓄する毛布500枚と非常用食料1,000食を自衛隊の協力で搬送させていただきました。

3月23日からは、支援物資として町民の皆様から毛布などを、28日からは支援物資の範囲を広げたいと考えております。

さらに、本町の公営住宅などや、人工透析患者の受入れが可能であることを北海道に報告しているところであります。

被災地は、福島第1原発の影響もあり、日々刻々と状況が変化しておりますが「この町にできること」を集約し、変化する状況に対応しながら、被災された皆様にお届けしたいと考えております。

春の選抜高校野球開会式の選手宣誓にあった「がんばろう日本！」は、そんな国民の気持ちを象徴した感動的なものでした。今、国を挙げて人々は、この思いでひとつだと感じています。

被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げ、本町にできる限りの支援をしていきます。

がんばろう日本！

東北関東大震災義援金 受付しています



芽室町共同募金委員会

役場1階総合案内窓口

芽室町社会福祉協議会(ふれあい交流館)

日本赤十字社芽室町分会

保健福祉センター2階事務室

○受付期間 4月20日(水)まで

○受付時間 8時45分~17時30分

※土・日・祝日は役場のみで9時から12時まで受付しております。

芽室町農協、商工会でも受付しています。

芽室町では、この地震により被災された方々への支援活動として、右記の2か所で義援金の受付をしています。

すでに多くの個人、学校、団体から心あたたまる義援金をお寄せいただきありがとうございます。中には100万円という大口の義援金もお寄せいただいております。

引き続き義援金の受付をしていますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

【3/31現在の募金額】

共同募金 11,249,975円 日赤募金 5,091,458円